

在ヒューストン山本総領事帰朝ご挨拶

この度、一年半のヒューストン勤務を終え帰国することとなりました。この間に岡野会長、上野前会長始めヒューストン日本商工会、そして会員企業の皆さまから賜りましたご厚情に重ねて御礼申し上げます。

ようやく日本社会からも、テキサスの重要性に相応しい関心と注目が、テキサス各地に寄せられつつあると感じます。偏に皆さまの長年にわたるご活躍の賜物です。当地の経済興隆共々、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

私はしばらく東京での勤務となります。これまでとは相当様子の違う仕事になりますが、ヒューストンの活気の中で皆さまが元気に意気軒昂に過ごしの様子を思い描きながら、私も日本で励んでまいります。

後任総領事は夏にも着任する予定です。どうぞ引き続きましてのご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。皆さまとご家族がくれぐれもご安全に過ごされますことをお祈りし、ご挨拶いたします。

平成25年4月 在ヒューストン総領事 山本条太



Arigato Houston!

ジャパンフェスティバル2013

4月13-14日@ハーマンパーク

不安定な天候が続くこの時期のヒューストンですが、例年通り、今年のジャパンフェスティバルも素晴らしい好天に恵まれ、過去最多の3万人以上(推定)の来場者を迎え盛大に開催されました。

今年は記念すべき第20回であり、これまでのヒューストン市民のサポートへの感謝の気持ちを込めて“Arigato Houston!”をテーマとして開催されましたが、商工会からも大勢のボランティアが参加され大活躍いただきました。

商工会は昨年同様、キッズ縁日(金魚すくい、スーパーボールすくい、ヨーヨーつり、輪投げ、ガラポン)と浴衣トライオンを担当し、チケットブース、ベバレッジを含め、延べ240名ものボランティアにご参加いただきました。いずれのお店も大人気で、途切れることのないお客様に皆様精力的に対応していただきました。お陰様で、2日間の来客者総数5,502名、チケット売上げ10,764枚という驚異的なものとなりました。何よりも嬉しかったのは、大勢のヒューストン市民が日本文化に興味をもち、満面の笑みで楽しむ姿に接したことです。ボランティアの方々からもいただいた

「大変だったけど、子供たちの最高の笑顔を見られて癒されました」というコメントが正に会場の様子を表していました。

メインステージでは、雷太鼓などアメリカ人中心の多くの演目や日本をテーマにしたヒューストングランドオペラに加え、二人の日本のポッピングの公演など日米競演で会場を盛り上げました。更に、開催日の前日のことですが、ハーマンパークの日本庭園内でアメリカ人の新郎新婦が多くの親族・友人に見守られて夫婦の契りを交わっている場面に遭遇しました。これほど多くのヒューストン市民が日本文化を愛していることに日本人として誇りに思うと共に、このジャパンフェスティバルの意義というものを実感しました。

また、フェスティバル開会式においては、山本総領事が、パーカー市長より(ゴンザレス市議会議員が代理出席され)ヒューストン市名誉市民と親善大使の任命証書を授与されました。おめでとうございます。

事故もなく、大成功のジャパンフェスティバルとなりましたが、改めてご協力いただきましたボランティアの方々へ心より感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました!

ヒューストン日本商工会
副会長(ジャパンフェスティバル担当)
北米三菱商事 高杉 禎

→6-7ページに続く



目次	1... 総領事帰朝ご挨拶・ジャパンフェスティバル	4... 婦人部だより	8... 駐妻日記・教育コラム	11... ワン! ダフル
	2... 商工会常任委員会議事録	5... 英会話告知・第一回宇宙ゼミナ	9... テキサス・メディカル最前線	12... ヒューストン知っとな物語
	3... 会員消息・補習校入園入学式	6, 7... ジャパンフェスティバル	10... 気ままなフォトアルバム	12... Houston Walker・編集後記

平成25(2013)年4月度 商工会常任委員会 議事録

日時：平成25年4月17日(水) 13:00～14:00

場所：United Way Community Resource Center
(50 Waugh Dr., Houston, TX 77007)

出席者：名誉会員1名、常任委員23名、正個人会員5名(常任委員代理)事務局長

欠席者：常任委員60名(会長委任47名、代理人委任5名、8名無回答)

司会：金子公亮新幹事

1. 商工会会長連絡事項(岡野夏井会長)

4月15日のボストンマラソン爆破事件で幼い子どもを含む3名が亡くなるという痛ましい事件が起こった。ヒューストンの街中でも掲げられている半旗を見て、改めてテロ行為に対する憤りを感じる。当地では3月にソフトボール予選大会が開催された。たかが草ソフトとはいえ、熱戦が続きスポーツを通じた全体の一体感や交流の素晴らしさを再認識した。補習校は例年を上回る新入生を迎え4月6日に入学式が行われた。4月13日・14日に催されたジャパンフェスティバルでは、商工会担当のキッズ緑日と婦人部委員会の浴衣トライオンへ、多数のボランティアによる協力で無事成功裏に終了できたことに感謝申し上げます。

2. 総領事館連絡事項(岩田慎也領事)

岩田領事より下記4点の連絡があった。

①山本総領事が本日離任。後任総領事の着任までは渡部首席領事が総領事代理を務める。

②ゴンザレス市長代理を団長とするヒューストン姉妹都市代表团が3月下旬に千葉市を訪問し無事帰国した。この訪問に関して商工会特命理事でもある直木日米協会会長には多大なご尽力を頂いた。この場を借りて感謝申し上げます。

③ボストンマラソンでの爆破事件のほか、当地ではローンスタール大学での傷害事件などが突発的に発生している。会員や家族の皆様には安全危機に関する情報収集を心がけ、身の回りに十分な注意を払っていただきたい。

④本年夏に参議院選挙実施に伴う在外選挙が行われるが、投票するためには在外選挙人登録が必要となる。手続きとしては、所定の登録申請書を総領事館窓口にご本人が提出して頂く必要がある。選挙人証が交付されるまでには2～3ヶ月を要するので、選挙人登録をされていない方は早目に手続きされることをお願いする。

3. 2013ジャパンフェスティバル終了報告(高杉禎副会長)

4月13日(土)・14日(日)にHermann Parkで行われたフェスティバルは、天候にも恵まれたうえにメディアへのPRの効果もあり、3万人以上もの来場者があったとの観測がある。キッズ緑日には延べ170名のボランティア、浴衣トライオンには86名のボランティアの協力をいただいた。フェスティバル全体の売上が今年約15.5万ドルと昨年の27%増とのこと。キッズ緑日も昨年の6千ドルを凌ぎ、今年は9千ドル強の売上となった。今後フェスティバル運営に関する課題や反省点を関係者と話し合ったうえで総括をご報告したい。

4. 役員・理事委員・常任委員交代について(金子公亮新幹事)

①名誉会長職について

名誉会長職にあった山本総領事が帰朝されたことにより現在は空席とする。

②幹事職の交代について【承認事項】

石井前幹事(JTB USA, Inc.)の離任に伴う幹事職の欠員補充につき、定款第四条第三項「役員欠員」に従い、3月度理事委員会で承認された金子公亮新幹事(Mizuho Corporate Bank, Ltd.)について本常任委員会の過半数の承認による追認がなされた。

③常設委員長職の交代・任命について

定款第五条第三項(平成21年10月度の常任委員会で一部改正)に従い、3月度の理事委員会において森前教育委員長(JD Rockies Resources Ltd.)の後任として増田裕一新教育委員長(Mitsui & Co. (USA), Inc.)が、金子前図書委員長の後任としてライブロック祐子新図書委員長(事務局長兼務)が岡野会長から任命された。

5. 委員会・部会報告

①文化委員会(上野真吾副会長兼文化委員長)

*商工会・日本人会共催ピクニックについて

既に連絡済みのとおり、5月12日(日)の午前8時45分から午後4時までThe Gordon Ranchにてピクニックとソフトボール決勝トーナメントを開催する。盛大な行事とするため、多くの参加とともにラッフルチケットの購入、ラッフル景品の寄付の協力をお願いしたい。

②スポーツ委員会

(ライブロック祐子事務局長：藤井一彦スポーツ委員長代理)

*商工会ソフトボール予選結果報告・決勝トーナメント組合せについて

3月31日(日)に16チームが参加し予選リーグを開催。決勝トーナメントは5月12日(日)ピクニック会場にて開催予定。決勝トーナメント進出チームは、1位通過が三井マリガンズ、2位通過がアストロズ、3位通過が三菱レッドダイヤモンドズ、4位通過がクリアレクユナイテッド、そしてワイルドカード通過がロードランナーズの5チームとなった。

*第545回テキサス会「総領事杯」開催について

運輸・サービス・金融・貿易部に担当幹事をお願いし、第545回テキサス会「総領事杯」が4月21日(日)にHouston National Golf Clubで開催される。

③婦人部委員会

(ライブロック祐子事務局長：岡野眞貴子婦人部委員長代理)

終了済みの行事として、昨年11月17日に現地校対応に焦点をあてた西元洋子先生による「教育講演会」開催、11月28日には「第1回レディースミニゴルフコンペ親睦会」、12月5日と今年2月5日に坂本吉弘先生による「プリザーブドフラワー講習会」を2回開催、1月29日に日本の料理研究家による「おもてなし料理講習会」開催、2月14日から初の試みとして会員・人数限定で無料の生活密着型「英会話教室」を開始。3月2日に東日本大震災とハリケーンサンディー復興支援目的の「チャリティー映画上映会」開催。我謝京子監督の「311:ここに生きる」を上映。義援金860ドルは両被災地支援として半分ずつ寄付予定。4月4日に小口よし子先生による「アートキャンドル講習会」を開催。4月13日・14日は86名のボランティアの協力を得て「浴衣トライオン」を実施し320名の来場者があった。今後の活動として、5月18日(日)に今年度第2回目の古本市を三水会センターで正午から4時まで開催予定。英会話教室を毎月第2木曜日に三水会センター会議室で開催。

6. ショーイングジャパン活動報告

(ショーイングジャパン代表 奥原由佳利様)

ショーイングジャパン代表の奥原様からグループの説明紹介があった。1989年に補習校児童生徒の保護者が中心となり設立されたボランティアグループで、その主旨としてはヒューストン地域で日本文化紹介をすることで長年活動を継続、2004年3月には日本の外務大臣賞を受賞。活動内容としては、茶道・書道・華道・日本舞踊・折紙・着物着付けなど様々な日本文化紹介のデモンストレーションを学校や老人ホーム、協会や日本語補習校などで実施。日本人向けイベントとしては、七五三や晴れ着写真撮影会、チャリティーお茶会などの実施、ジャパンフェスティバル参加など。活動費として商工会から年間2,000ドルの補助金を受けるほか、写真撮影会やジャパンフェスティバルなどの収益、デモンストレーションへの謝礼金など年間4,000～6,000ドルの収益金があり、それを各活動の備品購入費や交通費、講習費などに充当。

7. 事務局関連事項(ライブロック祐子事務局長)

会員消息

正個人会員入会13社(16名)、正個人会員退会18社(21名)、常任委員新旧交代4社、正団体会員退会2社、所属先変更4名(2社)、連絡先変更3社、社名変更1社、配偶者登録2名(1社)(詳細は別項「会員消息」欄参照)

8. その他

*経済講演会の順延について

本日の常任委員会終了後に予定されていた経済講演会につき、講師の岩岡氏が搭乗予定のフライトがキャンセルされたため、急遽講演会を順延することとなった。順延日は現在未定。

■Museum of Fine Arts Houston によるプレゼンテーション

*プレゼンター：Dr. Yasufumi Nakamori (中森康文氏)

(Associate Curator of Photography)

*内容：Upcoming Exhibition (in January, 2015) の紹介

“For a New World to Come: Experiments with Photography in Japanese Art 1968-1978”



会員消息 <敬称略/カッコ内、配偶者名>

★よろしく! ~新規入会です

* 正個人会員入会(カッコ内、配偶者名)

- Development Bank of Japan Inc. 淵脇大樹
- INPEX Corporation 渡辺芳弘/山谷 崇
- JD Rockies Resources Ltd. 堀江亮行
- JFE Steel America, Inc. 中村 宏
- JETRO Houston 中溝 丘
- JOGMEC 白木秀明
- Kuraray America, Inc. 田岡悠太 (茜)
- Marubeni America Corporation 伊藤 優
- MCX Exploration (USA), Ltd. 金子善隆
- Metton America Inc. 植木久憲
- Mitsubishi International Corporation 和田隆則
- NOLTEX L.L.C. 宮 忠司/安藤崇行
- Sumitomo Corporation of America 吉川 慶/橋本慎也

* 配偶者登録

- Mitsui E&P USA LLC 松本 藍/井上 愛

●替わりました ~メモのお願い

* 常任委員交代

- Development Bank of Japan Inc. 三浦理寛 → 淵脇大樹
- JFE Steel America, Inc. 三木平基 → 中村 宏
- JOGMEC 市川 真 → 白木秀明
- Marubeni Oil & Gas (USA) Inc. 太田裕史 → 牛嶋浩介

* 所属先変更

- 柚木博行/山田悠治
(前) Marubeni Unconventional Resources Corporation
(現) Marubeni Oil & Gas (USA) Inc.
- 手塚敏之/吉田一星
(前) Champions Pipe & Supply, Inc.
(現) Mitsui & Co. (USA), Inc.

* 連絡先変更

- MHI Compressor International Corporation
山根康幸 (新) xxx-xxx-0319 (下四桁のみ変更)
米田啓造 (新) xxx-xxx-0324 (同上)
- Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A., Inc.
(新) 945 Bunker Hill, Suite 600, Houston, TX 77024
(電話番号、Email等の変更なし)
- Pasona N A, Inc.
(新) 11200 Westheimer Road, Suite 828, Houston, TX 77042
Tel. 713-730-3277 (Email、その他の変更なし)

* 社名変更 (下線部分)

- (旧) MCX Exploration (USA), Ltd.
- (新) MCX Exploration (USA), LLC

◆さようなら! ~残念ながら退会です

* 正団体会員退会(3月末付)

- Champions Pipe & Supply, Inc.
- Marubeni Unconventional Resources Corporation

* 正個人会員退会

- Development Bank of Japan Inc. 三浦理寛
- JD Rockies Resources Ltd. 住吉貴文
- JFE Steel America, Inc. 三木平基
- JOGMEC 市川 真
- Kuraray America, Inc. 福泉 洋 (あゆみ)
- Marubeni Oil & Gas (USA) Inc. 太田裕史
- Marubeni Unconventional Resources Corporation 真野圭一郎
- MCX Exploration (USA), Ltd. 建守 悠 (こずえ)
- Metton America Inc. 横尾雄友
- MHI Compressor International Corporation 諏訪 太 (聡子)
- Mitsubishi International Corporation 嶋田暢一 (ミスティ) 吉浦 興 (公子)
- Mitsui E&P USA LLC 上田賢治
- Nippon Express U.S.A., Inc. マウ アンソニー/太田ロイ
- NOLTEX L.L.C. 藤原 孝
- Sumitomo Corporation of America 伊藤隆広
- Toshiba International Corporation 岡 利明/神 康博/石橋雄一郎
- Yokogawa Corporation of America 中村篤人
- Yusen Logistics (Americas) Inc. テリー陽子

ヒューストン日本語補習校 入園・入学式

4月6日、春の暖かい陽気に恵まれ、ヒューストン日本語補習校平成25年度入園、入学式が行われました。わが子の晴れ姿にカメラを向ける大勢の保護者や在校生が見守る中、ブレザーやワンピースに身を包んだ新入園児33名が元気良く入場行進。続いて小学1年生44名、中学1年生22名、高校1年生14名が温かい拍手のもと入場し、総計113名の新入生を迎えました。日米国家斉唱の後、新入生一人一人の名前が担任の先生方より呼び上げられ、元気に「ハイ」と返事をしていきます。

山岡校長先生より「皆さんは現地校と補習校の学習を両立させるため、日本の小中学生には想像もつかない努力を続けてきました。難しい勉強にも大量の宿題にもへこたれずに頑張るその姿は、まさに『苦しい時そこ前が出る』そのものだと思います。皆さんの夢や希望に近づけるよう、この気持を持ち続けてほしいと思います。」と式辞。来賓の渡部首席領事からは、「他の日本の子よりたくさん勉強することになるが、両方の文化を学べるチャンスです。遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強するとメリハリのある生活を送って下さい。」と祝辞を頂きました。

新入生の言葉では、中学1年生の小関さん、大原君から「新しいものに立ち向かう勇気を持ちながら現地校との生活を両立させ、補習校では社会人としての礼儀を学んでいきたい」と力強い抱負が述べられました。



首席領事と新入生の言葉のとおり、現地校と補習校を両立していくことは、日本では体感できない挑戦であり国際的な視野を拓けるチャンスでもあります。校長先生の言葉のとおり、苦しい時そこ前に出れば、道は開かれると信じて、これから始まる補習校生活を友達もたくさん作りながら、元気で楽しく過ごしていってほしいと願います。

新入園・新入学児童の保護者の皆様、本当におめでとうございました。

< 補習校運営委員会 >

ピーカンキッズ活動報告

～あそぼーかい～

ブルーボネツも咲き始め、春真っ只中と思っていたら、また冬に逆戻りかと思うほど冷え込みました。そんな肌寒い4月4日、三水会センターにてあそぼーかいが開催され、今回は大きい子から小さい子まで幅広い年齢の子どもたちが集まってくれました。

いつものようにあそぼーかいのマスコット、トラお君とトラ子ちゃんが元気に登場するとちびっ子達は大喜び。

春に咲くお花の話をした後は、今月の歌「チューリップ」、手遊び「あがり目、さがり目」と「げんこつ山のためきさん」の2つ、紙芝居「ふたごのねずみ」にお誕生日会、と今回も盛りだくさんのプログラムでした。



最後に工作で、日本で見ごろを迎えたさくらの花を台紙に貼り、みんなでお花見をしました。

あそぼーかいは、平日1回、土曜日1回の月2回(6月は1回、7、8月はお休みを頂いております)三水会センターにて開催しております。是非、お友達を誘って遊びに来てください!!



●今後の開催予定

＜あそぼーかい＞

6月1日(土) 9時30分～
7、8月はお休み
9月14日(土) 9時30分～

＜読み聞かせの会＞

6、7、8月はお休み

変更がある場合もございます。三水会センター内ポスターやヒューストンナビでもご確認ください。

スタッフは、随時募集中です。ご興味をお持ちの方お問い合わせは、次のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい

mama.asobokai@gmail.com

読み聞かせの会

houstonyomikikase@yahoo.co.jp

アートキャンドル講習会 Art Candle Workshop ご報告



リボンの成形をアドバイス



真剣な眼差しで花の仕上げ



可憐なピンクのアネモネのキャンドルの完成!

室内にほのかに香るアロマキャンドル。また、食卓にろうそくを灯して夕食…。アメリカに住むようになり、照明の一部にろうそくを取り入れた生活スタイルが身近になりました。小さな暖かい光を見つめると、なんだか優しい気持ちになれるような気がします。

4月4日木曜日、三水会センター会議室において開催されたアートキャンドル講習会。日本でもキャンドルのお教室をされていた小口よし子先生を講師にお招きし、アネモネのお花をあしらった可愛いキャンドルの製作に挑戦しました。まずはキャンドルの肩の部分にリボンを取り付けることからスタート。カットしたワックスシートを手で温めて幾分柔らかくなったところでリボンの形に成形してゆきます。先生は穏やかにシートを手に取り実演して下さるけれど、リボンの緩やかなカーブを自分の手で作り上げてゆくのは思いのほか難しく、

ボウルのお湯で手を温めながら、「ああでもない、こうでもない」と、作業に没頭しました。何とかリボンらしきものが仕上がると、キャンドル本体にワックスを流し入れます。これで何とかキャンドルとして機能するものに仕上がったとほっとして、周囲を見回してみると、既に慣れた手つきで次のステップであるアネモネの花びらの成形に進んでいる方々が目に入って少々焦り気味に…。ワックスシートを花びらの形にカットして、いくらか要領よく、手を動かしてゆきますが、次第に指先に痛みを感じるようになりました。先生の手もとを拝見すると、見事に本当の花びらのように仕上がってゆくのですが、これが実はかなり指先の力の要る作業なのです。それでも手を動かし、花びららしくなるようにと花びらの先端の部分を薄く仕上げるように心がけ、形を整えました。納得

の仕上がりとはいえないけれど、出来た花びらを重ねてゆくと遠目にはアネモネと思える花が出来上がりました。初めてのキャンドル作りをこのように楽しんで、何とか仕上げる事が出来たのも、テーブルを回って的確なアドバイスを下さった先生のご指導があってこそ。小口先生、材料をご用意いただき、このような機会を設けて頂き、ありがとうございました。

持ち帰ったキャンドルははたして“アート”キャンドルと呼んでよいのか疑問ですが、テーブルの上に飾って楽しんでおります。このキャンドルに火を灯す時には、手作りのケーキと紅茶をゆっくりと楽しみたいものです。この日仕上がった16個のキャンドルが、それぞれのご家庭で素敵な時間を演出してくれるでしょう。

婦人部アートキャンドル講習会担当

Hello!

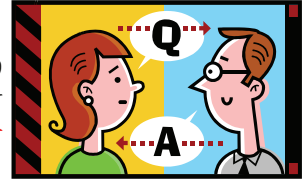
婦人部委員会主催

9月度英会話レッスンのお知らせ

ご好評をいただいておりますKate先生の英会話レッスンですが、夏休み期間はお休みとなり、次回レッスンは9月12日(木)に開催します。次回テーマは、当初の予定を変更して「学校でのコミュニケーション」です。このテーマは初回レッスンで取り上げたものですが、学校で使われる単語や特有のフレーズから先生との会話の進め方、Eメールの書き方までカバーされた、とても有意義なレッスンとなりました。参加者

の皆様から多くのお喜びのお声をいただいております。現地校新年度スタートの時期に合わせて、再度同じテーマで、より充実した内容をお届けします。初めての方はもとより、前回参加された方も、今からスケジュールに入れていただき、9月度レッスンは是非ご参加ください。

お申し込みは、8月20日(火)より eikaiwahouston@gmail.com にて受け付けます。なお、9月度レッスンは**お子様連れOK**とさせていただきます。



2013年 第1回 宇宙セミナー 開催

HTV(こうのとり)のランデブー技術

商工会では、皆様から大変ご好評をいただいております宇宙セミナーを今年度も引き続きJAXAの協力を得て開催することとしました。

去る2月24日(日)、スペースセンターヒューストン(SCH)にて2013年第1回宇宙セミナーを開催しました。今年度最初となるセミナーとして、「HTV(こうのとり)のランデブー技術」に関する講演と、恒例のNASAジョンソン宇宙センター(JSC)内の施設を回るトラムツアー(日本語解説付き)を企画。当日は少し肌寒い天気の中だったにもかかわらず、20家族65名もの方々にご参加いただきました。

午前中はSCHのトラムに乗って、JAXAヒューストン事務所の山上所長代理の案内によりNASA JSC内の施設を見学しました。数々の有人宇宙飛行ミッションを実施してきたミッションコントロールセンター(MCC-H)では、国際宇宙ステーション(ISS)運用管制室とアポロビューイングルーム(アポロ時代の運用管制室の展示)を見学。昔と今の管制室設備の違いも含め、ISS運用管制室の運用管制官が世界各地の運用管制センターと連携しながらリアルタイムでISSを運用している様子を紹介。その後、宇宙飛行士訓練施設へ移動し、ISSの実物大の訓練用モックアップを見ながらその中で行われる宇宙飛行士に対する訓練内容の説明や、同施設に置かれる将来ミッションに向けた月面ローバ開発モデル等についての説明がありました。(今回はNASAの特別な御厚意で、日本の実験棟「きぼう」の訓練用モックアップの傍まで寄って見学ができました。)



「きぼう」訓練モックアップの前で

午後からは、今回のメインイベントとして、同JAXAヒューストン事務所の和田所長代理による「HTV(こうのとり)のランデブー技術」についての講演がありました。ISSに実験装置や宇宙飛行士用の衣料品・食料品などの様々な物資を運ぶ日本の補給船「HTV」(呼称「こうのとり」)には、日本が世界に誇る技術



講演「HTVのランデブー技術」

がいくつもあります。今回は、その中でも特に難しいとされた「ランデブー技術」を取り上げ、高度400kmの上空を秒速8kmの速さで周回しているISSの直下10mの位置にピタッと到達する技術(相対速度ほぼゼロで、ISSから見て直下10mの位置で停止している状態)について説明。ヒューストン赴任の直前までHTVの運用管制官として活躍していた和田所長代理は、「HTV(こうのとり)はISSに向かってどうやって近づいていくか(ランデブーしていくか)、どのようにその技術を実現したか」について、その高い精度の計算に基づいた打上げタイミングとISSに絶対に衝突しない高精度で柔軟な軌道設計、想定外の事態にも備えた安全機能、そしてNASA運用管制チームと質の高い協調運用を行える運用管制技術の向上を挙げて、それらによって初めてその高度なランデブー技術を実現させたことを図やアニメーションを使いながら分かりやすく説明しました。講演のあとの質問コーナーでは参加者から多くの質問が挙がり、日本が世界に誇るHTVの技術とその技術を発展させた将来の有人宇宙船の実現について夢が膨らむ楽しい講演会となりました。

(文責 JAXA)



アポロ運用管制室の見学



ISS運用管制室の見学



ISS訓練モックアップの見学

Arigato Houston!

ジャパンフェスティバル 2013



器用さが求められるヨーヨー作り



お客様対応で大忙し



大人気の金魚すくい



高得点を狙いました！（輪投げ）

浴衣トライオン2013 The Final

満員御礼!!

今年も、ボランティアの方々のご協力あって、たくさんのご来場者に日本文化を肌で感じて頂き、たくさんの素敵な笑顔を見せて頂くことができました。その上、今回は、なんとも嬉しいご報告がございます。浴衣を着付けて差し上げた一組のお若いカップルの男性が、日本庭園をお散歩中に彼女にプロポーズ、指輪をプレゼントされたということです。日本文化をお伝え出来たどころか、愛のキューピットとしても貢献できた喜びを、ボランティアの方々は無言のこと、当イベントに携わって下さったすべての方々とわかちあいたいと存じます。多くの方々のご協力とご理解を得て、今年も例年を上回る売り上げを計上することができました。5年間続けてきた当イベントの集大成になったと自負しております。ボランティアとして参加して下さった方々をはじめ、ご協力いただいた方々、ご来場くださった皆様、すべての方に婦人部一同心から感謝申し上げます。

ボランティアの方々への多大なるご負担を考慮させて頂いた上で、現段階におきましては、来年度以降の当イベントの存続は未定でございますが、長い間、皆様と一丸となって当イベントを盛り上げ、たくさんの方々の笑顔を作りだし、日本文化の一端として多くの方に興味をお持ち頂けたことは、婦人部メンバーということだけではなく、日本人女性としてもこの上ない幸せと存じております。

そして今年も、プロ美容師のサンドラさんとお仲間二人を連れて、ボランティアで髪の手伝いをして下さいました。まさに百人力。大変有難く頼もしいメンバーでした。一方、残念なご報告ですが、毎年、当イベントの為にご好意で着付け講習会の講師をして下さっていた古川恵子先生が、いよいよ6月に本帰国されることになりました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、我々婦人部委員会におきましては、少しでも皆様のお役に立てるよう、今後も更なる活動を企画実施して参りたいと存じますので、今後ともご理解とご協力賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

皆様、ほんとうにありがとうございました。

婦人部委員会一同



プロポーズ大作戦、大成功！



ありがとう！古川先生



プロ美容師サンドラさんとお仲間



踊り子たちの華麗な舞

ショーイングジャパン活動報告

忘れ物を取りに戻ってきたかのような冬将軍でさえも、ジャパンフェスティバルを心待ちにする私たちに敬意を表してくれたのか、穏やか陽気の2日間となりました。日曜日には、上がる気温・湿度と共に、祭の熱気も負けじと急上昇。

ショーイングジャパンでは、例年通り、両日、ブースでの日本の小販売と手作りのしおりへの日本語で名前書きを行い、2日目の日曜日には、花柳ダンサーズ改め緑美鶴会と合同で、日本舞踊の舞台も務めました。ブースでは、中高生ボランティア19名、メンバー20名の協力下、皆さまから寄付して頂いた日本の雑貨及び手芸部を中心に手作した小物を手頃な値段で販売し、たくさんの方に喜んで頂きました。年好評の無料のしおりへの名前書きは、今年も大人気で長蛇の列。



元気一杯の子ども踊り

グレーターヒューストン 日本人会

今年のJapan Festivalでは、グレーターヒューストン日本人会(JAGH)は、讃岐うどん、綿菓子、枝豆、アンパンや、アートキャンドル、古本の販売をしました。讃岐うどんは、日本食レストラン「鯨陣」の協力を得て、たっぷりの鰹節と北海道のラウス昆布を使った、おいしい讃岐うどんが出来上がりました。多くの方から「ダシがおいしい」「うれしい」といったコメントをいただき、2杯目の人、家族分も後で買いに来てくれる人もあり、注文は途絶えることなく、ボランティアは休む暇もありませんでした。注文を受けてからのプロセスが最小限になるよう工夫したこともあってか、お客さんをお待たせすることもなく、準備した約1500食は2日間で見事に完売。当日を想定したシミュレーションや試食を何度も繰り返し準備してきた甲斐がありました。アンパンは、アメリカでは黒いアンコが苦手な人が多いとの話に心配する声もありましたが、1日200個準備した出来立てのアンパンは、2日もアツという間に売り切れしました。枝豆は、今では日本食レストランでの定番おつまみ。途中苦戦した場面もありましたが、これも見事に完売。綿菓子は、強力な助っ人Houston Ballet Academyの皆さんの協力もあり、途中で材料を切らしてしまうほどの売れ行きでした。アートキャンドルは、商工会婦人部でも講師をされた小口さんに作品を提供いただき、見に来られた方々からは「きれい」と好評。故能勢先生の蔵書を中心とした古本の売れ行きも上々でした。



休む間もない綿菓子

ここでの収益は、JAGHの会費の一部とし、会員あるいは日本人同士の「つながり」を深めていく草の根的な活動に役立てていきたいと考えています。

今回のJapan Festivalでの活動には、鯨陣、西本貿易、Merryland Bakery、JFC各社の支援や、また、会員以外の方も含め多くのボランティアの方々にご協力いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



何が当たったのかな？(ガラボン)



ボランティアの方で入念な段取り

踊り子たちの華麗な舞台



動報告



イケメン揃いのしおりブース



小物の売れ行きも好調

ささも、ジャパンフェス
てくれたのか、穏やかな
気温・湿度と共に、祭り
ブースでの日本の小物
行い、2日目の日曜日
日本舞踊の舞台も務め
メンバー20名の協力の
手芸部を中心に手作り
喜んで頂きました。毎
大人気で長蛇の列。中

高生の若い力のおかげで大成功に終わりました。踊りは、総勢49人(うち子供踊り33人)で8つの演目を踊りきり、いつも以上に見ごたえのある舞台をご披露できたと思います。特に子ども踊りの「ソーラン節」、「さくらさくら」、「河内男節」は、短期間の練習にもかかわらず、子供たちの目を見張る集中力と、松本先生・山鹿先生の熱心なご指導、そしてご父兄の皆さまの行き届いたご協力の甲斐あって、元気一杯、しとやかに迫力のある素晴らしい出来栄となりました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

私事ながら、今夏帰国予定の身には、渡米以来9回目のこのジャパンフェスティバルが最後の祭りとなりました。このフェスティバルは、ハーマンパークで催すのが許されている唯一の祭りとして伺っています。今や伝統となりつつあるこの行事は、諸先輩方のヒューストンとの良好な関係・貢献が認められた結果に他なりません。これからも、この伝統が絶えることなく、益々盛大に開催され続けることを深くお祈りしております。

(ショーイングジャパン 古川 恵子)



下の子も踊り



盛況の讃岐うどん



最後の追い上げ



すべて完売

“Oh Prajao” (タイ語。英語でいうOh My God!!) というのが、2008年3月、主人のHoustonへの異動辞令を聞いた時の素直な気持ちでした。タイに駐在(1年は学生)していた主人と大学で出会い、その後、先に帰国した主人を追うようにして結婚の覚悟を決めて来日、日本語をはじめ日本のことを全く分かっていない中、日本での生活を始めました。主人の異動の話聞いたのは、そんな日本でのバタバタした生活が3年過ぎた頃でした。日本人の奥さんとして生きていくことを決め、日本語をきちんと勉強し日本を理解していくことを大きな目標にしていたため、「せつかく勉強した日本語を忘れてしまうのでは」という心配と、また、お腹に6ヶ月の初めての赤ちゃんがいたこともあり、Houstonでの生活は不安だらけのスタートでした。

私は、日本語が好きです。タイ語とはあらゆる意味で違うのですが、とても素敵な言葉です。タイは基本的に季節感がうすいのですが、豊かな大自然とそれに伴う季節感に根ざした日本語はとても美しく、表現方法が豊かで、また敬語もあり(タイ語には、王様とお坊さんに使う敬語があるだけで、それ以外はありません)、とても洗練されているように感じます。そのような日本語を理解するには、日本人の考え方、季節感や美的感覚などの文化(主人が毎日、夜とつても遅くまで仕事をする、ということなどもそうです。笑)を理解することが大事だと思っています。

そういうわけで、私のこちらでの生活の目標は、アメリカ生活そのものを大いにEnjoyするというだけでなく、Houstonにいながらにして、いかに日本語

駐妻のヒューストン日記

第104回 狩谷ピヤワディー さん



お気に入りのイタリアンで、家族写真



ひな人形をみつけた和食レストランで

を上達させ日本を理解するのか、というものでした。現在、私自身の渡米から既に4年半ほど経過し、Houstonでの生活をとても楽しんでおりますが、これはやはり、たくさんの素晴らしい友人の存在によるところがとても大きいです。ここでは、日本人の友人達も“外国で暮らしている”ことは、(日本にいたときの)私と同じです。お互いがお互いをより必要とし、日々のお店・レストランの情報から子供に関する情報まで、多くの会話の機会があり、とても深いお付き合いをさせて頂いております。それらを通じて、彼女達の素晴らしい人間性に触れ、考え方、感じ方を理解するとともに、それが日本への理解、そして日本語の上達にも繋がっていると感じています。(みんな、本当にありがとう。私はみんなに出会えて本当に幸せです。) これからも、ここでの生活を通じて学べるアメリカの文化、私自身のタイの文化、そして日本人の大事な友人達を通じて学べる日本の文化、こういった違う文化をきちんと感じ、理解していきたいです。(ここでの暮らしの中で、若田宇宙飛行士にタイ語のレクチャーを個人的にさせて頂く、という大変名誉な経験をさせて頂く機会を得ましたが、アメリカで、日本人の方に、タイ関係のことを通じてお役に立てる、まさに、私の願っていたことです。)

あと何年かしたら、また、主人が夜中にならないと帰ってこない、そんな東京での生活が待っているのでしょうか、その時は昔の私とはまた違った素晴らしい生活を東京で送れるものと思っています。それまでの間、ここでの生活を楽しく、家族のためにも頑張ってお過ごしていきたいと思っています。

Special Education Column

教室から見えるアメリカ

② 「ほめる」文化



西元 洋子

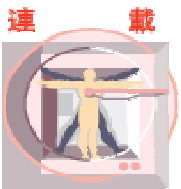
“You look very nice today, Ms. Nishimoto.” “I like your outfit.” 新しい服を着て授業をした日は、生徒達からそんな言葉をかけられる。髪を切ってヘアスタイルを変えれば、すかさず “Nice haircut!” と声がかかってくる。現地校の教師になりたての頃、挨拶のように生徒達からそう言われる度、「えっ！生徒が先生にそんなお世辞を言っているの、なんて答えばいいかしら。」とひとりドギマギしたものだった。しばらくして、学校の中の様子が良く見えてくると、それは何も特別な意図があるわけでも、珍しいことでもない事が分かってきた。なにしろ先生から生徒、生徒から先生、生徒同士はもちろんのこと、先生達同士もお互いに頻繁にほめ言葉をかけ合っているのだ。そしてほめられた側は、子供であろうと大人であろうと日本人のように「いいえ、そんなことないですよ。」と謙遜したり、照れたりするなんて事もなく、ただニッコリと “Thank you.” と答えている。そんな様子にカルチャーショックを受けたものだった。

アメリカ人は兎に角よくほめあう。日常の中で、家族や友人、隣人、同僚、単なる顔見知り同士でも、ちょっとしたことでお互いに頻繁かつ気軽にほめあう。町で全く知らない人に、自分の持ち物や、身に付けている物をほめられて驚いたという、そんな経験さえある方もいるだろう。“Wonderful” “Beautiful” “Very pretty” “Very good” “Excellent” “Great” “Splendid” “Super” “Terrific”等。こういう言葉は、文字通り日本語に訳すと大袈裟な賞賛の意味になってしまうが、アメリカ人は特別深い意味がなくても「かる〜」そうした言葉を口にする。まるでほめ言葉が挨拶代わりの様。生真面目な日本人の感覚からすると、「言った事に責任を持たなくて良いのか？」と首を傾げたくなるが、大げさにほめた事で訴えられるということもなく、それは、ある種、コミュニケーションの潤滑油のような役目をしている様にも見える。多くの異人種から成り立っているアメリカ社会では、出来るだけ誤解を避けるべく、良きにつけ悪きにつけ、お互い確認のためのコミュニケーションを取る習慣があるが、とくに、良い事には惜しみなく声掛けをするのが良しとされ、またそれがまた礼儀でもある。普通のアメリカ家庭であれば、子供達は、幼い頃から親にそうした

ほめ言葉を日常茶飯事に浴びせられて育っていく。そして学童期になれば、学校教育の中で “You did good.” “Good job.” “Excellent.” “Keep up a good work.(その調子でこれからもがんばって)”等と先生達がほめてくれる。

ある日のこと、日本人のお母さん達の立ち話が聞こえてきた。「色々気になる事はあるけど、先生がいつも “Great”とか “Doing good.” って言ってくれているから、まっ、いいかって、つい、聞きそびれちゃうのよね。」 「そう、そう。」と周りに居合わせた人達も皆一様に相槌を打っていた。知らない方々だったが、思わず、「ちよ、ちよっと待って！それって、鵜呑みにしちゃいけないのよ。」と声をかけそうになったことがある。

現地校の先生達は、教育研修などで「生徒が学習に前向きに取り込むように動機付けるにはどうしたらいいか」という事について常に学んでいる。その効果的な手法のひとつとして、Positive Reinforcementというアプローチがある。これは、簡単に言えば、生徒が良い結果を出した時にはそれをさらに強調することで継続的に良い結果が期待できるという教育論。そのためには、ポジティブなほめ言葉、ほうびとしての物(スティッカー、スタンプ、小物、クラスのみで通用する偽紙幣、Certificate等)、あるいは特権(宿題を一回分免除、コンピューターゲームを10分間する権利、先生のアシスタントになる権利等)を頻繁に与える必要があり、それが結果として生徒をもっとやる気にさせることができるというアプローチで、多くの先生達がクラス指導の中で活用している。たとえ、学習レベルがクラス全体の平均に達していなくても、その子なりに努力をしているのが見えれば、先生達は “He is doing great!” “Doing good.” “She is a very good student.”等とほめる。アメリカ人の親御さんたちは、そうした挨拶代わりのほめ言葉を聞いても “Thank you.” と言った後、すかさず “But, I am concerned about Tim’s reading grade.” (でも、ティムのリーディングの成績が気になっているんです)という風に自分の気になる事を会話の中に投げかけてくる。そこではじめて、先生が問題点を具体的に説明し、成績を改善するためにはどうしたらいいかを聞くという会話の流れになるケースが多い。学校の中でも「ほめるのはアメリカの文化」なんだと理解し、先生からの「ほめ言葉」を鵜呑みにせず、気になる事がある時には、「親としてのカン」を信じてさらにコミュニケーションを取ることで問題解決の糸口を見つけることができるだろう。



編集委員会では医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康に関する話、メディカルセンターの様子などを連載記事としてご紹介しています。

前回の小玉尚宏先生から婦人科腹腔鏡手術がご専門の小玉美智子先生にバトンが移りました。

第104回

骨盤臓器脱って何？

医師

MD Anderson Cancer Center

小玉 美智子



はじめまして。昨夏、大阪大学より参りました小玉美智子と申します。前月、このコーナーに寄稿した主人の小玉尚宏から、まるで当然かのように今月号の執筆を頼まれ、パソコンに向かっております。

現在、私はMD Anderson Cancer Centerで婦人科癌についての臨床研究を始めるべく、手続き完了を待っているところです。日本人的発想で、まずは2歳の娘の保育園を確保してから、面接に行き、手続きを始めて・・・と考えていたところ(もしすぐ来て下さいとなったら、大変だ・・・)、思いのほか各種手続きに時間がかかり、いつの間にか面接から5ヶ月もたってしまいました。日本では、産婦人科領域全般を診療しておりましたが、中でも思春期女子の診療、腹腔鏡・子宮鏡手術といった低侵襲手術、また骨盤臓器脱・尿失禁に対する手術を主に行っておりました。今回は、昔から存在していた病気なのに、近年ようやくマスコミで取り上げられ一般的に知られるようになった骨盤臓器脱という病気について、ご紹介させていただきます。

・どんな病気？

女性の骨盤内(下腹部)にある臓器というのは、子宮、膀胱、直腸、小腸ですが、それらが下がってくる病気です。人間は直立歩行をしているので、元々外陰部の方向へ重力がかかっている上、腹部に力がかかると(咳やいきみ等)更に圧力が増してしまいます。健全な状態では、骨盤内臓器は、周囲から引っ張られて支えられているハンモックのような骨盤底筋群という筋肉群によって支

えられています。しかし、ハンモックの布自体が弱かったり、引っ張っているひもが切れてしまったりすると、上に乗っている人がずり落ちてしまうのと同じように、加齢や出産経験等により筋肉自身が弱くなったり、元々くっついていないはずの強い組織から筋肉が外れてしまうと、上に乗っている骨盤内臓器が、まずは腔内に、ひどくなると腔外に脱出してきてしまうのです。

・どんな人になるの？

出産経験のある女性の50%が骨盤臓器脱を、また全女性のうち11.1%が80歳までに骨盤臓器脱や尿失禁の治療を受ける事になると言われています。また、妊娠出産経験がなくても発症する方もあり、50歳以上では30%に認められるとも報告があります。女性であれば、例外なくなり得るとも言えます。

・どんな症状があるの？

外陰部に何かが出てくる、擦れて出血する、排尿しにくい、また反対に頻尿になってしまう、尿失禁等があります。痛みは無い事がほとんどですが、不快感がある事があります。症状は、就寝後である午前中には出てこないけれども(腹圧がかからないので症状が出ない)、歩行し始めて腹圧がかかり始めた午後にはひどくなる事があります。実際の診療現場でも、午前の診療では異常がなかったり、また通常の内診台では下垂が生じず、立った姿勢で診察しないと症状が出てこなかったりする事もよくあります。

・放っておくとどうなるの？

基本的には、命に関わることはありません。ただ、長期間重度の骨盤臓器脱の状況であった場合には、腎臓の機能が悪くなる方がいらっしゃるかもしれません。とはいえ、長時間の歩行や運動が難しくなったり、自尊心を傷つけたりと、日常生活の質(QOL)が悪化する病気です。

・何科に受診すればよいの？

日本では、最近まで一般的に知られていない病気だったので、何が自分の身に起こっているのか、どこの科に行くべきか分からなかったとか、恥ずかしくて誰にも言えなかった等、随分長く悩まれて(中には数十年来悩んでいた方も!)、ようやく受診される方が沢山いらっしゃいました。アメリカでは、urogynecologyという分野が確立されているのですが、日本では一部の産婦人科医と泌尿器科医が専門としているものの、分野として確立していないので、専門家を見つけるのが少し大変かもしれません。近頃は女性骨盤

底〇〇センターなども設立されつつあり、状況が改善されてくるのではないかと思います。

・どんな治療があるの？

①過度の咳、便秘といったような、常日頃腹圧がかかるような生活習慣の見直しと治療

②骨盤底筋群体操の指導

膣や肛門を締める動作をする運動です。力の入れ具合が難しいのですが、排尿を途中で止めるような動作、といえぶんかりやすいでしょうか？HPをご参考にされて下さい。この運動は、軽度の骨盤臓器脱と腹圧性尿失禁(咳やくしゃみなど、腹圧がかかる時に起こる)の改善に有用だとされています。

http://www.kao.co.jp/freeday/qa/q2_01.html

③ペッサリーの使用

ペッサリーには様々な種類がありますが、腔内に挿入して脱出臓器を支える事を目的としています。重度の骨盤臓器脱では、すぐに脱出してしまい使用できない場合がありますが、使用継続が可能で手術を避けられる方もいます。

①、②、③では症状がよくならなかった方や、一般的に膣外まで臓器脱のある方(①-③は有効でない事が大半である)には、手術療法を考える事になります。

④手術

骨盤底筋群のどの部位が損傷しているか、糖尿病などの合併症があるか、腹圧性尿失禁の合併はあるか、等々により手術の方法を決定します。大きく分けると、膣から行う膣式手術、お腹を切って行う腹式手術、お腹を切る代わりに内視鏡を使って小さい傷で行う腹腔鏡手術があり、それぞれに更に様々な手術方法があります。1回の手術で治る方もいらっしゃれば、残念ながら術式によって違いますが、数%~30%の確率で再発する事があります。



今回は、MD Anderson Cancer Centerでご研究をされておられる産婦人科の吉原弘祐先生です。我が家がこちらに来てすぐ、ヒューストン留学中の産婦人科医の集まりに招いて頂いて以来、家族ぐるみでお付き合いさせて頂いております。先日美味しい焼き肉店で一緒に頂きました。これからも、よろしく願い致します。

Dr. Ned Shimizuの

気ままなフォトアルバム

www.texaskankou.com



連載



食虫植物ウツボカズラの軍団

Big Thicket: ヒューストンより車で約4時間

清水直樹 (清水直樹歯科医院)



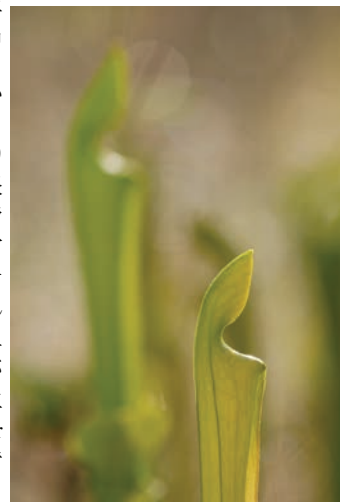
ウツボカズラの花

ヒューストンも5月になり暑くなってきました。今回は食虫植物の話です。ヒューストンから東へそして少し北に行くとBig Thicketという、アメリカでも不思議な自然環境があります。沼地や森林、平原、砂漠などいろいろな生態系が混じっています。ここではアメリカで見られる5種類の食虫植物のうち4種類が観察できます。特にウツボカズラ(Pitcher plant)の群生は、今流行の死ぬまでに一度は見ておきたい風景ベスト100に入りそうな勢いです。この群生はまさに今、春から夏にかけて見られます。詳しい場所はwww.texaskankou.com(テキサス観光.com)のBig Thicket National Preserveと見てください。地球儀をクリックすると地図が見ることが出来ます。3月のカヤック、今回のウツボカズラと私はまるで毎週のようにアウトドアを楽しんでるように見えますが、そういうわけでもなく6月1日には補習校に歯磨き指導に参りますので安心して下さい。お父さんお母さんも是非聞きに来て下さいね。ご家庭でのケアのポイントをわかりやすく説明する予定です。最近気がついたのですが、ここヒューストン、夏は異常に暑いのでキャンプやアウトドアスポーツには向かず、むしろ10月から5月くらいまでがベストシーズンのようです。ステートパークなども夏はがらがらですが、冬は場所によっては、泊まる場合は1年位前から予約がないと無理だったりします。そこら辺日本の常識から頭を切り替えてヒューストンを楽しみましょう。



ウツボカズラ

話はウツボカズラに戻りますが、図鑑か理科の教科書で見たことはあるかもしれませんが、写真のように葉が少しづつ変形してつぼのようになり、そこからいい匂い(虫にとつての)を出し、虫をおびき寄せます。つぼの中は滑りやすくなっておりさらに下に向かって細かい毛が生えています。つぼの上にはふたまでできているので、中に落ちた虫は出られません。つぼの下には消化液が入っていて、虫を吸収します。このような方法で栄養の少ない土壌でも生きていけます。ただこのウツボカズラ、小さいのが、ひっそりと1本生えてるのだとばかり思っていました、なんとここはそれが見渡す限り生えています。しかもかなり大きいです。コブラのような、もしくはニョロニョロのような、または宇宙人のような(見たことはないですが)、の大群がそろって笑ってるような感じです。季節が早ければ、ウツボカズラの子供も見えます。なかなかこれが可愛いのです。またこのウツボカズラの花が異様で、何で?といたくなる花です。この群生が見られるのは、Sundew Trailまたは Pitcher Plant Trailです。また小さいので見つけにくいですが、モウセンゴケ(Sundew)もたくさんあります。この辺はキャンプやRVパーク以外はホテルは少ないですが、近くのKountzeにSuper 8 Motelはあります。子供と一緒に行って他に何のアトラクションがあるわけでもないですが、ウツボカズラだけでも子供達は喜んで虫を採ってきてはつぼに入れたりして遊んでました。このPitcher Plant Trail以外にもバードウォッチングトレイル、カヤックトレイル、マウンテンバイクトレイル、釣りやハンティングやキャンプもできますので、大人たちにも健康のためにもよさそうです(Kauntzeにビジターセンターがあります)。さらに少し北に向かって移動すると、以前このガルフストリームにも書きましたがRusk, Palestineで蒸気機関車に乗れるところもありますので、子供達も喜んでくれると思います。写真は同じくwww.texaskankou.com(テキサス観光.com)で見れます。



ウツボカズラの赤ちゃん



ウツボカズラの大群

せっかく何かの縁で来てしまったヒューストン。さすがにわざわざ日本から飛行機代を払って、13時間ぐずる子供をあやしつつ飛行機に揺られ、さらには4時間も車で走り、安ホテルに泊まってまで見に行くかといえば疑問は残りますが、ヒューストンに住んでいれば、またはヒューストンに友達の顔を見に来た、孫の顔を見に来たついでであれば行かない手はないでしょう。または友達を誘うのに、この写真を見せ、ウツボカズラのように“ヒューストンよいとこ来てみてね”と念じつつ、友達が来るのを待つというも手でしょう。日帰りもできます。

Big Thicketについて、詳しく知りたい方は、テキサス観光.com www.texaskankou.com を見てください。質問があれば書き込んで下さいね。ヒューストンにいるからこそ行ける他の楽しい場所も載っていますので、なかなか遊びに来てくれない友達、知人、親戚に見せて、ヒューストンにもっと来てもらいましょう!



ワン!ダフル

ヒューストン

川原志津香
(家庭犬しつけインストラクター)

Vol.15 犬の防災プランは 万全ですか？

National Hurricane Centerによれば、大西洋で発生するハリケーンのシーズンは、6月1日から11月30日とされています。

今年もハリケーン・シーズンが訪れようとしています。犬と一緒に暮らしている方は、犬のための防災プランが整っているか是非確認してください。

(1) 犬のための防災グッズ



自宅で食料や水の備蓄をしている中には、犬の飲料水やドッグフードも含まれているでしょうか？

ヒューストン市のホームページには、ペットのための防災プランに関するパンフレットが掲載されていて、ダウンロードすることも可能です(<http://www.houstonoem.org/go/doc/4027/155581/>)。防災グッズとして、フード(少なくとも5-7日分)、水(少なくとも3日分)、薬の予備、応急処置セット、IDタグつきの首輪とリード、市への登録や予防注射の記録などの書類、動物病院の連絡先、クレート(プラスチック製の移送用のハウス)やキャリーバッグ、トイレシートやウンチを片付けるためのビニール袋、ペットと一緒に写っている写真、お気に入りのおもちゃやおやつ等ストレスを緩和できるものを、準備するようにと書かれています。いざというときにすぐに取り出せるように、ひとまとめにしておくとうれいでしょう。

わたしは、写真にもご紹介しているような犬の身分証明書を数枚作って避難袋の中や、普段使っているハンドバッグに入れてあります。ここには、①犬の名前、②生年月日、③性別、④犬種、⑤マイクロチップ番号、⑥マイクロチップの種類、⑦飼主の名前、⑧飼主の連絡先、⑨動物病院および連絡先を記載し、犬の写真を貼付しています。犬が行方不明になってしまった場合に、このようなカードがあると、捜索も素早く開始できるので、表面は日本語、裏面は英語で作っておくことをお勧めします。

(2) 避難場所

自宅での備えと共に考えておきたいのが、大同伴避難についてです。万が一、自宅を一時離れて



行方不明になったときに、犬の写真やマイクロチップ番号があれば探すときに役立ちます。

避難生活を送らないといけない事態になったときに、大同伴で宿泊できる近隣のホテル事情を事前に調べておくとうれいです。

もし大きな災害が発生して、多くの人が自宅を離れて避難生活を送ることになると、大勢の人が一緒に生活する避難所が設営されるかもしれませんが、スペースの問題や動物アレルギーの人への配慮で、犬は、ペットのために設けられる別の避難所に集められ、クレートの中で長い時間を過ごすことになるかもしれません。

同伴避難できるにしても、別の避難所に預けられるとしても、日常生活の中でクレートを安心できる場所と理解して、その中で落ち着いて過ごすことができる犬は、クレートに慣れていない犬よりも、ストレスが少なく避難生活を送ることができるでしょう。

(3) 避難訓練

日本では、地震が起きたら机の下へ逃げて落下物による怪我を防ぎましょうというのは常識ですが、犬にはこの常識はありません。

日本で暮らしていたときに、自宅でくつろいでいる犬たちに向かって大きな声で「ハウス！」と指示して、犬2頭をそれぞれのクレートに入らせ、自分は机の下に避難する、「ひとり避難訓練」をゲームのようにやってみたことがありました。最初犬たちは、一度クレートに入ってもすぐ出て来て、不思議そうにわたしが避難した机の横で座ったりしていましたが、何度か練習して、わたしが机の下にいても、自分たちはハウスでじっとしていられるようになりました。大きな地震の際に、逃げ惑う犬を抱えて机の下に避難しようと思うと飼主の身も危険です。犬が素早い動きで自分のクレートに飛び込めば、何かの下敷きになることは防げるので、この「ひとり避難訓練」は役に立ちそうです。

日本では、それぞれの自治体でペットとの避難についてのルールが異なりますが、新宿区や練馬区などは、毎年大同伴の避難訓練を行っているようで、少し緊張した様子で移動する人々や他のペットと一緒に避難を疑似体験することもできます。ご帰国の際は、是非お住まいの自治体のルールを確認してください。

ヒューストンでの避難の場合には、車での移動が想定されますので、普段から車に乗ることに慣らしたり、車酔いしてしまう犬は、短時間・短距離のドライブから徐々に慣らすようにします。

(4) 心肺蘇生法(CPR)

災害時には、通常は5分で到着できる動物病院へ搬送する手段がなかったり、時間がかかったりすることも想定されます。呼吸が止まっているときにも、早急に心肺蘇生法を施せば、一命を取り留める可能性もあるため、犬の心肺蘇生法についても、事前に知識をつけておくとうれいかもしれません。

犬の心肺蘇生法の手順をポスターにまとめたサイトをご参照ください(<http://www.thedogfiles.com/2012/02/20/saving-your-pet-with-cpr-info-graphic/>)。この他にもインターネットで検索すると、動画で紹介するものもあり、たくさんの情報を得ることができます。

(5) しつけ

万が一犬が自宅から飛び出してしまっても、「オイデ」と呼べば戻って来る犬と、「オイデ」というと、「ここまでおいで」と言わんばかりに飼主の2mぐらい前を跳ね回っていつまでもつかまらない犬では、どちらの安全を保障してあげられるでしょうか。必要な指示を聞くことができるように日頃から犬に教え、様々な社会の刺激に慣らして(社会化)おきましょう。

防災プランを実際に使う日が来ないことを祈るばかりですが、日本で起きた大地震やアメリカで起きたハリケーンの後には、飼主同様がそれ以上のストレスにさらされてしまうペットの様子が度々メディアで紹介されていて、やはり日頃からの備えが大事だと痛感したものです。

備えあれば憂いなしです。ハリケーン・シーズン到来前に、犬の防災プランについても考えてみてください！



クレートでの避難生活は自分の部屋で避難生活を送っているのと同じ。写真は練習風景。



クレートには絶対に犬を押し込んで嫌いにならないでください。居心地が良い場所にして少しずつ慣らします。タオルなどで周りを見えにくくしてクレートの中を薄暗くすると落ち着きます。扉をあけても飛び出して逃げないように練習していくことが大切です。



Houston Walker

ライブ音楽

- The Cynthia Woods Mitchell Pavilion: <http://www.woodlandcenter.org/>
- House of Blues Houston: <http://www.houseofblues.com/>
- Bayou Music Center: <http://www.livenation.com/Verizon-Wireless-Theater-tickets-Houston/venue/98584>
- Jones Hall: <http://www.houstonsymphony.org/>
- Toyota Center: <http://www.houstontoyotacenter.com/>
- Miller Outdoor Theatre: <http://milleroutdoortheatre.com/>
- Reliant Park: <http://www.reliantpark.com/calendar>

劇・エンターテインメント

- Main Street Theater—Rice Village (2540 Times Blvd.) 713-524-6706 www.mainstreettheater.com
*Charlotte's Web (Saturdays) (~May 18)
*Close Up Space (May 18~June 26)
- Wortham Theater Center
Cullen Theater (501 Texas) 832-487-7041 www.houstonfirsttheaters.com/WorthamCenter.aspx
*Whose Live Anyway (May 19)
- Alley Theatre (615 Texas) 713-220-5700 www.alleytheatre.org
*Warrior Class (~June 2)

- Hobby Center—Sarofim Hall (800 Bagby) 713-315-2525 www.thehobbycenter.org
*Sister Act (May 28~June 2)

美術

- The Museum of Fine Arts Houston (713-639-7300 visitorservices@mfa.org www.mfa.org 木曜は入場無料)
- Contemporary Arts Museum Houston (www.camh.org)
- Houston Museum of Natural Science (One Hermann Circle Drive 713-639-4629 www.hmns.org)
- The Menil Collection (1515 Sul Ross 713-525-9400 <http://www.menil.org> 入場無料 Open: Wed-Sun 11:00am-7:00pm)

スポーツ

MLB/Houston Astros @ Minute Maid Park <http://houston.astros.mlb.com>

May 20 (Mon) 7:10 pm Kansas City Royals
 May 21 (Tue) 7:10 pm Kansas City Royals
 May 22 (Wed) 7:10 pm Kansas City Royals
 May 24 (Fri) 7:10 pm Oakland Athletics
 May 25 (Sat) 6:15 pm Oakland Athletics
 May 26 (Sun) 1:10 pm Oakland Athletics
 May 27 (Mon) 1:10 pm Colorado Rockies
 May 28 (Tue) 1:10 pm Colorado Rockies
 June 4 (Tue) 7:10 pm Baltimore Orioles
 June 5 (Wed) 7:10 pm Baltimore Orioles
 June 6 (Thur) 1:10 pm Baltimore Orioles
 June 14 (Fri) 7:10 pm Chicago White Sox
 June 15 (Sat) 6:15 pm Chicago White Sox

編集後記

山本総領事、御帰任ということでお疲れ様でした。また商工会でも4月の人事異動でヒューズトンを去られた方々が多数いらっしゃいます。皆様新任地での活躍をお祈りいたします。実は私も5月に帰国ということで、今回は最後の編集後記となりました。私の赴任期間は15か月にすぎませんでしたが、その短い期間でもシェールガスに沸くヒューズトンがダイナミックに変化しているのが感じられました。ガルフストリームが伝える内容にも少しずつその雰囲気が反映されてきており、今後も見続けていきたいと思っていたところでもあったので、少し残念に思っています。

後任は私と同じJOGMECの白木という者ですが、私よりは編集委員長の仕事をきちんとしてくれると思いますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

(市川 真)



ガルフストリームは毎月15日発行です。

- 発行 : ヒューズトン日本商工会
- 発行責任者 : 岡野 夏井
- 編集委員長 : 市川 真
- 構成・編集 : 前田 正子
- 印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating